

令和5年度 行政評価の取組結果（上下水道局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）		
II-1-(4)-④ 総合的な災害 対策の 推進	1	⑥ ⑪ ⑬	浸水対策事業	下水道計 画課	上下 水道 局下 水道 計画 課	近年、集中的な豪雨に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、公共下水道の整備を進め、流域全体の浸水に対する安全度の向上を図る。	浸水被害の抑制 （累計）	—	目標	3	地区	5	地区	重点整備地区（9地区）の雨水整備（R7年度）	3,614,663	2,930,000	1,616,645	165,200	順調	重点整備地区の雨水整備について、計画どおり進んでいるため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 雨水整備が予定どおり進み、浸水被害の抑制に寄与していると考えられるため、「順調」と判断。 【課題】 浸水被害の抑制に向け、引き続き効率的な整備を行う必要がある。
									実績	3	地区	5	地区									
									達成率	100.0	%	100.0	%									
II-1-(4)-⑤ 公共施設などの耐震化の推進	2	⑥ ⑨ ⑪ ⑬	地震対策事業（水道施設）	計画課	上下 水道 局計 画課	大規模な地震が発生した場合においても、安全で安定的な給水を確保するため水道施設の耐震化を実施するもの。	浄水施設耐震化率 配水池耐震施設率	33.2% （R1年度） 配水池耐震施設率 54.1% （R1年度）	目標	浄水 59.2% 配水池 55.7%	浄水 59.2% 配水池 57.7%	浄水施設耐震化率 77.5% （R10年度） 配水池耐震施設率 60.1% （R7年度）	67,687	258,001	9,807	4,610	順調	浄水施設、配水池ともに概ね目標の耐震化率に達しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 中期目標に対して概ね順調に耐震化が進んでいるため、「順調」と判断。 【課題】 大規模地震に備え、引き続き計画的な耐震化を進める必要がある。		
									実績	浄水 59.2% 配水池 55.7%	浄水 59.2% 配水池 55.7%											
									達成率	100.0	%										浄水 100.0% 配水池 96.5%	
II-1-(4)-⑤ 公共施設などの耐震化の推進	3	⑥ ⑨ ⑪ ⑬	地震対策事業（下水道施設）	施設課	上下 水道 局施 設課	大規模な地震が発生した場合においても、最低限の下水処理が行えるように下水道施設の耐震化を実施するもの。浄化センターに近接するポンプ場や災害拠点病院などから排水を受ける重要な15ポンプ場の耐震化に取り組む。	重要な15ポンプ場の耐震化率	—	目標	46.7	%	53.3	%	重要な15ポンプ場の耐震化率 73.3% （R7年度）	96,959	150,000	171,131	10,690	順調	予定どおり日本下水道事業団との工事委託に関する協定は締結した。工事にやや遅れが生じているが、概ね目標の耐震化率に到達しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 中期目標に対して概ね順調に耐震化が進んでいるため、「順調」と判断。 【課題】 大規模地震に備え、引き続き計画的な耐震化を進める必要がある。
									実績	46.7	%	46.7	%									
									達成率	100.0	%	87.6	%									

令和5年度 行政評価の取組結果（上下水道局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
Ⅱ-3- (4)-② 国際協 力・交 流の推 進	4	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰	上下水道技術 の国際協力	海外 事業 課	上下 水道 局海 外事 業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市など）への職員派遣や海外からの研修員受入などにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことと、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。 併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	海外からの研修員受入人数	—	目標	380 人	100 人	—	27,745	61,094	35,578	27,030	大変 順調	海外からの研修員受入人数が目標を大幅に上回り（164人）、海外の技術者の育成、世界の水環境改善に貢献したため、「大変順調」と判断。	大変 順調	【評価理由】 海外からの研修員受入人数が目標を大幅に上回り（164人）、海外の技術者の育成、世界の水環境改善に貢献したため、「大変順調」と判断。 【課題】 今後も国等関係機関のスキームを利用して海外からの研修員を受入れるなど、本市のコスト削減とともに効率的、効果的な事業実施を図る必要がある。
Ⅲ-1- (3)-① 安全で 安定し ておい しく飲 める水 道の整 備	5	⑥ ⑨ ⑪ ⑬	配水管更新事 業	計画 課	上下 水道 局計 画課	老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、赤水、不出水の解消や管破損事故を防止し、安全で安定的な給水を確保する。	配水管の効率的・計画的な更新（累計）	—	目標	77.0 km	113.0 km	185km (R7年 度)	5,087,562	5,242,727	6,065,646	296,125	順調	令和5年度の配水管更新目標36.0kmに対し、32.0kmの配水管更新工事を終えており、概ね目標近く更新を進めているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業が概ね予定どおり進んでいるため、「順調」と判断。 【課題】 事故の防止に向け、引き続き計画的な更新を進める必要がある。
Ⅲ-1- (3)-③ 快適で 良質な 生活環 境をつ くる下 水道の 整備	6	⑥ ⑪ ⑬ ⑭	合流式下水道 改善事業	下水 道計 画課	上下 水道 局下 水道 計画 課	合流式下水道で整備された地区は、大雨時に雨水で希釈された未処理下水の一部が川や海に流れ出ることがある。 放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減するため、合流式下水道の改善に努め、良好な水環境をつくる。	良好な水環境の実現（合流改善達成率 R5：100%）	—	目標	93.0 %	100.0 %	合流改 善の達 成 (100%) (R5年 度)	1,810,666	1,600,000	2,459,953	121,150	順調	合流改善達成率について目標通り達成（100.0%）し、事業が完了したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 合流改善達成率について目標通り達成（100.0%）し、事業が完了したため、「順調」と判断。

令和5年度 行政評価の取組結果（上下水道局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
VI-3-(3)-④ 下水汚泥などの循環利用	7	⑨ ⑪ ⑫	下水道資源の有効利用	施設課	上下水道局施設課	下水汚泥のバイオマスイエネギーとしての燃料化や、さまざまな資源の有効利用を行う。	下水汚泥の有効利用率	100% (R1年度)	目標	100.0 %	100.0 %	100% (毎年度)	1,856,017	1,951,410	1,883,407	127,275	順調	成果指標である下水汚泥の有効利用率の目標100%を達成したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 事業が予定どおり進み、下水汚泥などの循環利用につながっていることから、「順調」と判断。 【課題】 資源化率を維持するため、汚泥燃料化施設の安定稼働を行う必要がある。
VII-1-(3)-② 上下水道、消防、交通などの分野における国際協力の推進	8	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑰	上下水道技術の国際協力	海外事業課	上下水道局海外事業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市など）への職員派遣や海外からの研修員受入などにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことと、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。 併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	海外からの研修員受入人数	—	目標	380 人	100 人	海外の技術者の育成・世界の水環境改善に貢献	27,745	61,094	35,578	27,030	大変順調	海外からの研修員受入人数が目標を大幅に上回り（164人）、海外の技術者の育成、世界の水環境改善に貢献したため、「大変順調」と判断。	大変順調	【評価理由】 国際協力事業に関しては、海外の技術者の育成について目標を大幅に上回っている。 海外水ビジネスに関しては、北九州市海外水ビジネス推進協議会を軸にして、カンボジア、ベトナムなどでビジネス案件を引き続き受注している。 以上のことから、「大変順調」と判断。 【課題】 今後も国等関係機関のスキームを利用して海外からの研修員を受入れるなど、本市のコスト削減とともに効率的、効果的な事業実施を図る必要がある。 海外水ビジネスについては、今後も協議会と連携し、事業に取り組むことで地元経済の活性化を図る必要がある。
									実績	107 人	164 人									
									達成率	28.2 %	164.0 %									

令和5年度 行政評価の取組結果（上下水道局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
	9	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰	海外水ビジネスの推進	海外 事業 課	上下 水道 局海 外事 業課	<p>上下水道分野などの海外水ビジネスは、今後も人口増加や都市化の進展により市場の拡大が見込まれ、国の成長戦略においても、水分野等のインフラシステム輸出を推進するとされている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて「ウォータープラザ北九州」を活用し、水ビジネスに向けた取組を進める。</p>	市が関与するビジネス案件数	—	目標	6 件	6 件	中期 目標	海外水 ビジネスを通じた地 元企業の振興と国際 貢献	82,717	115,108	70,157	49,870	順調	<p>現在カンボジアやベトナムを中心に進めている国際技術協力を通して築いた信頼関係を土台に、官民一体となり、海外水ビジネス案件や北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業への受注に繋げている。</p> <p>実績として、令和5年度はビジネス案件を7件受注したため、「順調」と判断。</p>		
								実績	12 件	7 件											
								達成率	200.0 %	116.7 %											

令和5年度 行政評価の取組結果（上下水道局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
VII-2-(1)-① アジア 低炭素 化セン ターを 核とし た都市 インフ ラビジ ネスの 推進	10	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰	海外水ビジネ スの推進	海外 事業 課	上下 水道 局海 外事 業課	<p>上下水道分野などの海外水ビジネスは、今後も人口増加や都市化の進展により市場の拡大が見込まれ、国の成長戦略においても、水分野等のインフラシステム輸出を推進するとされている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて「ウォータープラザ北九州」を活用し、水ビジネスに向けた取組を進める。</p>	市が関与するビ ジネス案件数	—	目標	6 件	6 件	中期 目標	海外水 ビジネ スを通 じた地 元企業 の振興 と国際 貢献	82,717	115,108	70,157	49,870	順調	<p>現在カンボジアやベトナムを中心に進めている国際技術協力を通して築いた信頼関係を土台に、官民一体となり、海外水ビジネス案件や北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業への受注に繋げている。</p> <p>実績として、令和5年度はビジネス案件を7件受注したため、「順調」と判断。</p>	順調	<p>【評価理由】 北九州市海外水ビジネス推進協議会を軸にして、カンボジア、ベトナムなどでビジネス案件を引き続き受注していることから、「順調」と判断。</p> <p>【課題】 今後も協議会と連携し、事業に取り組むことで地元経済の活性化を図る必要がある。</p>
								実績	12 件	7 件											
								達成率	200.0 %	116.7 %											